

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金
事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	羽田北地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県 大田原市	(栃木県) 90000 (大田原市)92100	1	平成 24 年度 ～平成 28 年度	平成 24 年度
活性化計画の区域				
栃木県大田原市 羽田北地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備 考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	10.6ha	10.6ha	100%	

(コメント) 事業活用活性化計画の目標値に対して 100%達成された。 当該農道を整備したことにより農作業の効率化が図られ、今後地元住民の定住促進に結び付くものと思われる。
--

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
土地改良施設保全	農道工 L=973.3m W=5.0m		大田原市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
大田原市	平成 24 年度	平成 24 年度	平成 25 年 3 月 6 日
事業の効果			
農道を整備したことにより、野菜等の出荷時の荷傷み防止及び搬出時間の短縮等の営農条件が改善されたことで農作業の効率化が図れた。			

3 総合評価

(コメント)

[大田原市]

当該路線が整備されたことにより、野菜等の荷傷み防止や農作業の省力化等の営農条件が改善され、今後は安定した農業経営及び当地域の定住化の促進が期待される。

[栃木県]

本事業により当該路線が整備されたことで高品質農産物出荷量が増加し、輸送体系が確立されたことにより、農業経営の向上が図られた。

4 第三者の意見

(コメント)

稲作から園芸作物への転換には農道整備は不可欠であり、要望も増えている。

本事業が実施されたことにより、維持管理の軽減や営農条件の改善がなされたと思われる。

農林業センサスのデータでは農業従事者数が減少傾向であるが、当地区の農業経営がますます発展し農業従事者の減少に歯止めがかかることを期待したい。